



こんにちは

# 村田 けい子

2016.1.15  
No.35

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



## 1・11(祝)消防出初式行われる。

初春恒例の消防出初式が行われる朝、西塩沢消防団が、ラッパを鳴らしながら元気に町内を行進。町内のみなさんにご挨拶をした後、権現山のマレットゴルフ場に集合し、厳かに出初式が行われました。式典終了後、全町の消防団員、小型ポンプ車が隊を組んで行進しました。

式典では年間、火災がなかった地域の分団が表彰されました。寒い中、いつもパトロールや予防活動、お疲れさまです。

全体での式典の後、地域ごとの出初式も行われました。消防隊のみなさん、頼もしいですね。



幼年消防隊  
(保育園の子  
どもたち)  
小旗を振って  
元気よく。

子どもたちが誇らしげにお父さんを見ていました。みなさん、頼もしいです。防災、よろしくお祈いします。



## 2016 新春のつどい

1/31(日) 13:30~16:00  
中央公民館大ホール

### 第1部 アトラクション

マジック、ドジョウすくい  
リコーダー演奏 炭坑節 etc.

### 第2部 ごあいさつ

村田 桂子さん 立科町町会議員  
藤岡 義英さん 長野県議会議員  
唐沢 ちあきさん 参議院選挙区  
竹花 政彦さん 「沖縄を旅して」



主催//新春のつどい実行委員会

☎/山浦妙子(56)1215/竹花政彦(56)1298/村田桂子(56)2868

アトラクション  
出演者大募集!  
ふるって  
お申し込みを

差し入れ  
大歓迎!



天体シヨウに魅入る



今週の  
パチリ

逆三日月(鏡月)と金星です。先週の7日(木)の夜明け前、東の空を見るとビックリ。上弦の三日月と金星が絶妙の配置で輝いていました。

月と金星の冴え冴えとした輝きが美しく、凍てついた夜明け前の空気の中でも魅入ってしまいました。

空気のきれいな立科ならではの夜空です。冬の星の輝きは宝石のようです。



# —大規模太陽光発電事業の説明会おこなわれる—

1/12-13 西塩沢地区の農地に太陽光発電事業の説明会が老人福祉センターで行われ、12日には農林課をはじめとする役場関係者数十人、13日には中央公民館で地権者13人が参加、質疑応答が行われました。その概要をお知らせします。



UK3の事業者たち



12日の役場関係者への説明会

\* 予定地籍 128筆 151.921㎡ 地権者50名位 畑/92,102㎡ 山林/30,000㎡ 田/27,136㎡ 他、宅地、雑種地、道路など

\* 営農一体型太陽光発電 10メガワット/時間 売電価格は36円で設定、20年間保障される。発電設備の下でキクラゲ（10万菌床）の栽培をしたい。すでに経産省から許可IDを取得、中部電力からも買い取り枠の設定を受けている。（H29年1月より売電予定）あとは地権者の合意が必要。

キクラゲは「国産・無農薬・生」を売り込みのポイントに。現在98%が中国からの輸入、国産品へのニーズは高い。

・キクラゲの栽培設備を含め30~35億円の事業規模 17年償還 一部自己資金、あとは銀行から。

\* 土地の賃貸契約 20年間 5万円/10a（平均）

\* 事業者 UK3（太陽光発電事業を立科で実施するために3つの事業所で創る合同会社）

・ UKホールディング（不動産事業）  
・ 一般社団法人クリーンエネルギー総合研究所（キクラゲ栽培のノウハウを提供）  
・ アース環境株式会社（太陽光発電の設備）

・ キクラゲ栽培については地元の人中心でつくる農業生産法人で、20~30人の雇用を考えているとのこと

\* 設計施行建築の会社はまだ決まっていない。

《先行実施》静岡県沼津市東熊堂265  
10a 設備費5,500万円 17年間償還  
・ 143kw/h X 32円 X 1250時間発電  
売電 年間617万円  
・ キクラゲの生産販売 600個の菌床  
収穫 約1トン 販売120~140万円

\* 沼津市では9か月栽培できるが、立科では4~9月までの6か月を考えている。立科で実験栽培をしてデータを取る。

\* 発電設備の耐用年数は25年は最低保証、さらに延長して使える可能性あり、老朽化した時は解体・撤去は事業者の負担で行うことを確認。

\* 農業委員会へは毎年事業収益の報告義務があること。農業委員会では3年ごとの許可。キクラゲの生産が通常生産高の8割なければ改善命令、改善されなければ取り消しもありうる。

\* 予定区域内には、土砂崩れ警戒区域もあり、構造改善事業（農地・水・環境整備事業）の補助を受けている水田もある。（この区域は対象から外すことになるのではないかと）

\* 景観上の問題もある。大量の雨水が道路などに流れ込む危険は？

《答》雨水は樋を作ってキクラゲの栽培に使う。噴霧装置を作る。井戸を掘ることも考えている。対象区域の雨水は側溝などをつくり川へ流す予定。場合によっては貯水池も。

\* 税金について…「農地のままなので変わらない」と説明されているが、実際は現況課税なので、雑種地として課税が重くなる可能性はある。畑地で評価が40~45倍、山林が80倍になることもある。（参考までに）

「課税が重くなる時は、地代に当然上乘せする」ことを確認。

1月10日、愛川町で行われた愛川町一周駅伝第2部で立科町の職員チームが優勝しました。人手不足で業務多忙の中で、練習時間の確保も大変だったでしょうに、おめでとうございます。

